校友会上海支部例会報告（2020 年 10 月 14 日実施）

10 月 14 日（水）、静安寺エリアにあるオシャレなブラジル料理店『Latina』にて例会が開催されました。引き続き新型コロナウイルスの影響により、現在日本へ退避帰国中の方や、上海にて隔離中の方などもいらっしゃり、計 10 名の参加となりましたが、目の前でカットして下さるお肉や、たくさんのお料理に話も盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことができました。





本来であれば毎年 11 月頃に弁論大会や総会が開催され、日本から来て下さる先生方や学生の方々とお会いできるのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止になってしまいました。

現状上海は新型コロナウイルスの流行当初と比べますと、かなり落ち着いておりますが、世界中で感染者は増加しており、国境を跨ぐ移動はいまだに難しい状態です。（特に飛行機チケットが確保できない）中国国内においてはしばらく大きな感染者増加は発表されていませんでしたが、国慶節の少し前から青島の方で新型コロナウイルスの感染者が確認され、現在青島市民全員に無料で PCR 検査が実施されているようです。国慶節休暇で大移動があったため、上海でも少し規制が厳しくなり、ビルに入る際の検温や QR コード等の提示が再度開始されました。

上海もこの 1～2 週間でぐっと涼しくなりましたが、皆様もお身体には充分お気を付けいただき、また次回の例会で元気にお会いできる事を楽しみにしております。次回は 2021 年 1 月に開催予定だそうです。

（2013 年度中国語学科卒　山澤茜）

